## 鎌高新聞

発行 神奈川県立鎌倉高等学校 校長室 令和4年5月10日 第14号



日坂同窓生シリーズ 第3回 横浜市立大学データサイエンス学部 准教授 阿部 貴行 様 (令和5年4月より京都女子大学データサイエンス学部教授)

鎌高生の皆さん,こんにちは.横浜市立大学データサイエンス学部 准教授の阿部貴行(1992 年卒)です.「医療統計学」を専門にし、医療データの分析

手法の研究をライフワークにしています. 現在は, 厚生労働省の医薬品の承認審査における専門委員(生物統計学)もしています.

実は医学では、数学をベースとする統計学がよく使われます。それは医学が、極めて多様性が高い人間を対象にするからです。例えば、50 歳男性の集団といっても人間は様々ですよね。同じ背景の患者さんに同じ治療を施しても患者さんの反応には大きな差が生じることが常です。つまり、データのバラツキが大きいのです。そこで、統計学を用い、

「データのバラツキ」=「薬の効果による部分」+「誤差的な部分」と分解し薬効を「確率」に基づき評価する必要があります。ただ、日本にはその専門家が少ない状況です。本稿では私と医療統計学の出会いを紹介します。若い皆さんに少しでも医療統計に興味をもってもらえたら嬉しいです。

私は1989年に鎌高に入学しました. 当時は学区制があり受験の際に湘南高校 か鎌倉高校を選択してくださいと言われ,鎌高を選択しました. 校舎は日本随一 の好立地に存在し,学生や教員の先生方もよい人柄の方が多く,希望する有意義 な高校生活を送ることができました. ハンドボール部で仲間と鍛錬し数学と英 語に興味をもち勉強しました. 大学受験では,第2次ベビーブーム世代という ことで現役合格が少ない時代でしたが,担任の野秋先生から自宅に電話を頂き 成蹊大学工学部への推薦入試を偶然受験できました.

大学では当初,コンピュータを勉強したいと思っていましたが,大学2年のときに赴任された岩崎学先生(元日本統計学会会長)の統計学の講義が予想外にとても面白く,大学院修士課程まで統計学を学びました.統計学が薬の効果判定など実際に社会で活用されていることを知り,統計学の理論を正しく学べたことは一生の財産になりました.卒後,万有製薬(現MSD社)に治験の統計家と

して12年間勤め、その間に博士号を取得し、米国ニュージャージー州の親会社で6カ月間勤務する機会にも恵まれました。海外での生活により視野が広がり考え方も変わりました。是非、皆さんにも「海外にチャレンジして欲しい」です。就職後も、医療統計学の勉強を続け往復2時間の通勤では毎日英語を聞いていましたが、いざ機会が巡ってきたときに「小さな努力の継続」が大切だと体感しました。

2010年には、元同僚の臨床医の先生から機会を頂き、慶應義塾大学医学部に転職しました。医師主導臨床試験の統計家と医学部3、4年生への統計講義・実習が主な仕事で8年間を過ごしました。その間、米国ミネソタ大学に計3カ月間、英国ロンドン大学に計1カ月間滞在する機会を得て、世界的に著名な医療統計学の研究者の方々と交流できました。今は海外渡航が困難ですが、Zoomで研究交流を続けています。そして慶應では、国内外の第一線で活躍する多くの医師と一緒に仕事をしましたので、自ずと統計学の研鑽を更に重ねました。

2018年には、横浜市立大学にデータサイエンス学部が新設され学部長となられた岩崎 学先生のお誘いで異動しました。今では、昔の私のように統計学に興味をもち研究室に入ってきてくれる多数のやる気ある学生に医療統計学を教えています。自分のミッション(使命)は、「医療統計学の研鑽・実践と専門家育成を通じて医学の発展に寄与すること」なのですが、それを今後も継続するつもりです。

鎌高在校生の皆さんも自分の好きなこと(目標)を見つけ、一歩一歩「努力を継続」して欲しいと思っています。特に、「出会った人とのご縁」を大切に!無限の可能性をもつ若い皆さんのご活躍を心から祈っています。

阿部貴行先生(平成2年 第41回)の勤められている横浜市立大学データサイエンス学部は、日本で2番目にデータサイエンス学部を設置した大学です。最初に設置したのは、2017年に国立の滋賀大学でした。私立大学で最初に設置したのは、2019年に武蔵野大学が設置しました。これらの大学について朝日新聞出版が発行する「AERA」の2019年5月13日号に記事が掲載されました。この3大学の頭文字をとってMUSYC(ミュージック)と名付け、MARCH、日東駒専などのような大学群として「AERA」は提唱しました。

データサイエンスは、日々積み重なれたり、生まれたりするビックデータを整理、分析してビジネス、医学、金融、スポーツなどの分野に活用できるようにしていく学問です。

現在、データサイエンスの潮流は多くの大学に影響を与え、東京大学、京都大学、慶應義塾大学などでは、大学・大学院全体で活用を図っています。これからは文系・理系問わずデータサイエンスを学ぶ必要があります。